

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	保存検体を用いたがん細胞の免疫逃避関連タンパク発現解析と免疫細胞への感受性に関する研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026年3月31日		
③ 対象患者	<p>がんで受診された方</p> <p>対象期間中に当院で血液、切除標本等の検体が採取・保存され、探索的研究への利用に同意をされた患者さんのうち、食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌、胆道癌、乳癌と診断されている方</p> <p>がん以外で受診された方</p> <p>対象期間中に当院で血液が採取・保存され、探索的研究への利用に同意をされた患者さんのうち、これまでがんの治療歴がない方。</p>		
④ 対象期間	2017年4月1日 から 2019年12月31日 追跡期間として、この研究の実施許可日までの診療情報を収集します		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	消化器・腫瘍外科（第二外科）		
⑦ 研究責任者	氏名	永野 浩昭	所属 消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する試料・情報等	血液、切除検体ならびに生検検体、診療情報（病名、年齢、性別、病歴、各種検査の結果、治療情報、予後など）		
⑨ 研究の概要	<p>通常、がん細胞は宿主の免疫系によって排除されますが、がん細胞が免疫逃避機構を獲得すると、増殖・浸潤・転移といった病勢の進行へと繋がります。</p> <p>本研究では、患者さんの血液中に存在する免疫細胞や、切除検体から得たがん細胞の遺伝子・タンパク解析、培養による免疫細胞への反応を観察します。</p> <p>また、がんを患っていない方の血液から分離した免疫細胞も研究に用いることで、がんが身体にあることで免疫細胞がどのような影響を受けているかを解析します。</p> <p>それにより、がん細胞の免疫逃避メカニズムを詳細に解析し、がんの免疫逃避機構を標的にした新規治療法の開発を目指します。</p> <p>加えて、細胞から得られた情報と、がん患者さんの診療情報を統合することで、がん細胞の免疫逃避能力が予後や治療成績にどのような影響を与え</p>		

	ているかを明らかにします。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年8月16日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座 奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 担当者：恒富 亮一、木村 祐太			
	電話	0836-22-2264	FAX	0836-22-2263